

# 8/14 (月)

## ドキュメンタリー映画「カンタ・ティモール」上映会 自然療法の癒しとシェアリング



監督：広田 奈津子  
助監督/音楽監修：小向 サダム  
監修：中川 敬 ソウル・フラワー・ユニオン  
南風島 渉  
ステール：小椋文人 / 奥井保彦  
ドキュメンタリーカラー/DV/110分/4:3/ステレオ  
2012年東ティモール・日本/日・英・テトゥン語  
字幕・日・英・仏・テトゥン語/自主制作・初監督作品  
公式サイト www.canta-timor.com

舞台は南海に浮かぶ神々の島、ティモール。  
ひとつの歌から始まった運命の旅が、音楽あふれるドキュメンタリー映画となった。  
この島を襲った悲劇と、それを生き抜いた奇跡の人びと。その姿が、世界に希望の光を投げかける。  
当時23歳だった日本人女性監督は、人びととの暮らしの中で現地語を学び、彼らの歌に隠された  
本当の意味に触れてゆく。そして出会う、光をたたえまなざし。詩のようにつむがれる言葉の数々。  
それは観る者の胸をそっと貫き、決して消えない余韻となる。  
日本が深く関わりながら、ほとんど報道されなかった東ティモールの闘いをとりあげた、国内初の長編。  
自主映画ながらも感動は国境を越え、5か国100か所以上の試写会で会場が心を震わせた、愛すべきエチュード。

人類はひとつの兄弟なのさ  
父もひとり、母もひとり  
大地の子ども  
憎んじやだめさ、叩いちやだめ  
戦争は過ちだ、大地が怒るよ。

3.11以降の日本人の生き方のヒントが、この映画にはつまっている。

STORY 東ティモールで耳にした、ある青年の歌。日本帰国後もメロディが耳に残って離れない。  
監督たちは青年を探すため島へ戻る。そして一つの旅が始まった――

「ねえ仲間たち ねえ大人たち 僕らのあやまちを 大地は知っているよ」  
歌はこう始まっていた。  
直接的な音楽を歌えば命に危険が及ぶ、インドネシア軍事統制下にひっそりと歌われた歌だった。  
青年に連れられて、監督たちは島の奥へと入っていく。  
そこに広がるのは、精進たちと共に暮らす。青い海、たわむるマンゴー、はじけるような笑顔の人々。  
常夏のおおきな太陽に照らされ、深い影を落とすのは、人々の命を奪った軍事侵略。  
報道にのらない地下資源ビジネス、日本の驚くべき行動。  
3人に1人が命を落としながら、彼らが守り抜いたもの――  
「悲しい。いつまでも悲しみは消えない。でもそれは怒りじゃない。怒りじゃないんだ。」  
「人は空の星々と同じ 消えては 空を巡り また必ず 君に会える」  
弾丸が飛び交う中、人々は命をわけるように助け合い、そして笑い、歌った。  
大地に生かされ、輪になって踊る、遠く懐かしい風景。  
いつのまにか、ティモールの旅はそっと監督たちに問いかける。  
愛すべきふるさと、日本の島々の姿を――



21世紀に入り、一番最初に独立を果たした小さな国「東ティモール」の映画を通して、  
自然療法への理解を一緒に深めませんか？この映画には、アニミズム、シャーマン、  
祈り、自然のメッセージがたくさん詰まっています。皆さまとも共有したく、  
夏休みに特別に上映会を企画させていただきました。

【上映日】日 時：8月14日(月) 10:00～12:30  
内 容：映画「カンタ・ティモール」と自然療法の癒しとシェアリング  
予告編：[https://www.youtube.com/watch?v=vQ-e\\_RNE0oI](https://www.youtube.com/watch?v=vQ-e_RNE0oI)  
【参加料】 1,000円

「講師」 樋渡志のぶ 先生 (フラワーエッセンス担当講師)  
「受講対象」 協会員・その他資格認定者・一般

お問合せ、お申込は 東京療術学院 事務局まで TEL : 03-3375-1892

